

フランス文学

授業科目名	授業題目	単位数	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
フランス文学概論Ⅰ	「フランス文学」を通じて何を学ぶのか:その展望および文学史(17世紀まで)	2	黒岩 卓	3	火曜2限
フランス文学概論Ⅱ	フランス文学史(近現代)	2	今井 勉	4	水曜4限
フランス語学概論Ⅰ	フランス語学入門	2	黒岩 卓	4	月曜3限
フランス文学基礎講読Ⅰ	フランス文学を読む	2	武藤 奈月	3	火曜3限
フランス語学基礎講読	フランス語文法	2	黒岩 卓	4	月曜4限
フランス文学各論Ⅰ	近現代フランス文学研究 (1)	2	今井 勉	5	木曜2限
フランス文学各論Ⅱ	近現代フランス文学研究 (2)	2	今井 勉	6	木曜2限
フランス文学演習Ⅰ	近現代フランス文学テキスト読解	2	今井 勉	5	水曜2限
フランス文学演習Ⅱ	Introduction to French-speaking African literature	2	ABODOULAYE IMOROU	6	木曜1限
フランス文学演習Ⅲ	フランス語・フランス文学史の諸相	2	黒岩 卓	5	月曜3限
フランス文学演習Ⅳ	Overview of Greek and Latin literature	2	JULIEN DUBRUQUE	6	月曜5限

科目名：フランス文学概論 I

曜日・講時：火曜 2 限

semester：3 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB32202, 科目ナンバリング：LHM-LIT208J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：「フランス文学」を通じて何を学ぶのか：その展望および文学史（17 世紀まで）

2・授業の目的と概要：1) 今日の日本にあって、「フランス文学」という学問領域を通して何を学ぶことができるのかを考える。
2) 古代から近世にかけてフランス語やフランス語による文学が成立してきた過程の概要をつかむ。

3. 学習の到達目標：一人一人がこれからの日本におけるフランス語・フランス文学のありかたを考えられるようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第 1 回 オリエンテーション / フランス文学と日本
- 第 2 回 ラテン語からフランス語へ / ウェルギリウス『アエネーイス』 / 英雄像の変遷
- 第 3 回 『ローランの歌』 / 中世における口承と文書 / フランス文学の翻訳
- 第 4 回 「ロマン（物語）」の発生 / 『アーサー王の死』 / 結婚とその他
- 第 5 回 中世文学の担い手たち / 『ジャンヌ・ダルク処刑裁判』 / 牢獄
- 第 6 回 中世・ルネサンスにおける詩と音楽 / フランソワ・ヴィヨン / 自己
- 第 7 回 16 世紀概観 / ラブレール『ガルガンチュア物語』 / 日本におけるフランス文学の翻訳
- 第 8 回 カルヴァン『キリスト教綱要』 / 対抗宗教改革 / 神の探求
- 第 9 回 日本におけるキリスト教の伝播 / モンテーニュ『エッセー』 / ラテン語とフランス語
- 第 10 回 17 世紀概観 / 近代フランス語の成立 / デカルトとパスカル
- 第 11 回 古典主義の美学 / コルネイユ / ジャーナリズムの誕生
- 第 12 回 フランスの世界進出 / モリエール / オペラ・バレエ
- 第 13 回 ラシーヌ / 演劇
- 第 14 回 ラ・フォンテーヌ / フランス語の形成と辞書の歴史
- 第 15 回 教場レポート

（内容は予定であり、変更があり得ます）

5. 成績評価方法：出席（70%）および教場レポート（30%）

6. 教科書および参考書：永井敦子・畠山達・黒岩卓編著『フランス文学の楽しみかた ウェルギリウスからル・クレジオまで』、ミネルヴァ書房、2021 年。

7. 授業時間外学習：授業後、感想をフィードバックしていただく可能性があります。また期末の教場レポートの作成に向け、各自が準備をすることが求められます。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：フランス文学概論Ⅱ

曜日・講時：水曜 4 限

セメスター：4 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB43401, 科目ナンバリング：LHM-LIT209J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：フランス文学史（近現代）

2・授業の目的と概要：この授業では、18 世紀から現代までのフランス文学史を概観し、毎回、重要な作品を選んで、テキスト読解を試みます。

3. 学習の到達目標：フランス文学史を通覧しながら、フランス文学の傑作に触れ、文学的な教養を高める。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

- 第1回 導入 授業の進め方+成績評価の方法+総論
- 第2回 18 世紀のフランス文学（1）
- 第3回 18 世紀のフランス文学（2）
- 第4回 18 世紀のフランス文学（3） +コメント 400 字課題①
- 第5回 19 世紀のフランス文学（1）
- 第6回 19 世紀のフランス文学（2）
- 第7回 19 世紀のフランス文学（3） +コメント 400 字課題②
- 第8回 19 世紀のフランス文学（4）
- 第9回 19 世紀のフランス文学（5）
- 第10回 20 世紀のフランス文学（1） +コメント 400 字課題③
- 第11回 20 世紀のフランス文学（2）
- 第12回 20 世紀のフランス文学（3）
- 第13回 20 世紀のフランス文学（4） +コメント 400 字課題④
- 第14回 20 世紀のフランス文学（5）
- 第15回 まとめと補足

5. 成績評価方法：毎回の出席感想コメント 28%+400 字コメント 4 回分 32%+2000 字レポート 40%

6. 教科書および参考書：Google Classroom に資料を配付します。

7. 授業時間外学習：事前に配付する資料を読んで、授業に臨んでください。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：フランス語学概論 I

曜日・講時：月曜 3 限

semester：4 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB41302, 科目ナンバリング：LHM-LIT210J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：フランス語学入門

2. 授業の目的と概要：フランス語学についての概観を行い、受講者のその後の学習の出発点とする。

3. 学習の到達目標：フランス語学について、各自がそれぞれの興味に従って自律的な学習を始められるようになることが、この授業の目標である。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 オリエンテーションと教科書の紹介
 - 第2回 第1章：序論
 - 第3回 第2章：フランス語圏
 - 第4回 第3章：フランス語史
 - 第5回 第4章：音声学・音韻論
 - 第6回 第5章：形態論
 - 第7回 第6章：統辞論
 - 第8回 第7章：意味論・語彙論
 - 第9回 第8章：語用論
 - 第10回 第9章：記号論
 - 第11回 第10章：文体論
 - 第12回 第11章：社会言語学と心理言語学
 - 第13回 第12章：ポリフォニーと対話
 - 第14回 まとめ1
 - 第15回 まとめ2
- (内容は予定であり、変更があり得ます)

5. 成績評価方法：出席点 (100%)

6. 教科書および参考書：髭郁彦、川島浩一郎、渡邊淳也著『フランス語学概論』, 駿河台出版社, 2010年.

7. 授業時間外学習：毎回の授業について、教科書で扱われる個所の予習・復習、さらに副教材の仏文和訳が必要になります。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

9. その他：

科目名：フランス文学基礎講読 I

曜日・講時：火曜 3 限

セメスター：3 単位数：2

担当教員：武藤 奈月

コード：LB32306, 科目ナンバリング：LHM-LIT223J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：フランス文学を読む

2・授業の目的と概要：ジェラルール・ド・ネルヴァル（1808-1855年）は19世紀の詩人にして作家であり、その作品は20世紀のマルセル・ブルーストやアンドレ・ブルトンにも多大な影響を与えました。授業では短編小説集『火の娘たち』（1854年）から、「シルヴィ」を講読します。この作品では、主人公の「私」が少年時代を過ごしたヴェロワ地方での思い出を語り、夢と現実、過去と現在、幻想と記憶、地方と都会を絶えず行き来します。みずみずしい文体で書かれた原文をフランス語で精読しながら、文学作品を読み解くための技術を身に付けることを目指します。講読と並行して初級文法の復習も行い、特に文学テキストに多く用いられる半過去や単純過去といった文法項目を学習します。

3. 学習の到達目標：文法や語彙の確認をしつつ、近現代のフランス文学作品を読むための基本的な知識や技術を身につけます。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：イントロダクション（作家と作品について）

第2回：テキスト読解（pp. 537-539）

第3回：テキスト読解（pp. 539-541）

第4回：テキスト読解（pp. 541-543）

第5回：テキスト読解（pp. 543-545）

第6回：テキスト読解（pp. 545-547）

第7回：テキスト読解（pp. 547-549）

第8回：テキスト読解（pp. 549-551）

第9回：テキスト読解（pp. 551-553）

第10回：テキスト読解（pp. 553-556）

第11回：テキスト読解（pp. 556-559）

第12回：テキスト読解（pp. 559-562）

第13回：テキスト読解（pp. 562-565）

第14回：テキスト読解（pp. 565-567）

第15回：まとめ

（授業の進度は変更する場合がありますので、予めご了承ください。）

5. 成績評価方法：平常点（100%）：出席回数や宿題への取り組み、授業内活動への参加等を総合的に評価します。

6. 教科書および参考書：Gérard de Nerval, Œuvres complètes, tome III, Édition publiée sous la direction de Jean Guillaume et Claude Pichois avec la collaboration de Jacques Bony, Michel Brix, Antonia Fonyi, Lieven d' Hulst, Vincenette Pichois, Jean-Luc Steinmetz et Jean Ziegler,

7. 授業時間外学習：初回を除く毎回の授業の予習では、原則として事前に指定された箇所を訳出する必要があります。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

9. その他：

初級フランス語文法を一通り学んだ受講生向けの授業です。文学等についての予備知識は必要ありません。

科目名：フランス語学基礎講読

曜日・講時：月曜 4 限

semester：4 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB41406, 科目ナンバリング：LHM-LIT225J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：フランス語文法

2. 授業の目的と概要：主要な参考書として六鹿豊『これならわかるフランス語文法』（予定）を用いて、初級文法の復習と中・上級文法への導入を行います。

3. 学習の到達目標：近現代までのフランス語の読解に必要な文法的知識を深める。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

以下の予定で『これならわかるフランス語文法』（以下教科書の項を参照）を読みます。実際には進度には変更があり得ます。

第一回 オリエンテーション

第二回 pp. 10-41

第三回 pp. 42-77

第四回 pp. 78-97

第五回 pp. 97-124

第六回 pp. 125-152

第七回 pp. 152-189

第八回 pp. 190-226

第九回 pp. 226-260

第十回 pp. 260-298

第十一回 pp. 299-332

第十二回 pp. 333-367

第十三回 pp. 367-401

第十四回 pp. 402-435

第十五回 pp. 436-457

5. 成績評価方法：出席（100%：毎回小テストを実施します）。

6. 教科書および参考書：六鹿豊『これならわかるフランス語文法』、NHK 出版、2016。

7. 授業時間外学習：初回を除いて、原則として毎回授業で扱う箇所を読んで来ることが必要になります。また毎回小テストを実施します。従って、十分な予習と復習が必要になります。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：フランス文学各論 I

曜日・講時：木曜 2 限

semester：5 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB54204, 科目ナンバリング：LHM-LIT312J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：近現代フランス文学研究（1）

2・授業の目的と概要：この授業では、近現代（主に 19 世紀以降）のフランス文学から、文学史上特に重要な作家と作品を取り上げ、最新の校訂版や研究文献を参照しながら、その表現の特徴を分析します。

3. 学習の到達目標：近現代のフランス文学における重要な作家と作品に関する最新の研究に触れることで、テキスト研究のスキルを向上させる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

この授業では、20 世紀の文学と思想に大きな影響を与えたポール・ヴァレリー（1871-1945）のテキストについて、最新の校訂版と研究文献を参照しながら解説し、その思考表現の特徴を分析します。今年度は昨年度に引き続き、『詩学講義』（1937-1945）およびそれに関連する他の重要なテキストについて論じていきます。

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

- 第 1 回 導入
- 第 2 回 テキスト解説
- 第 3 回 テキスト解説
- 第 4 回 テキスト解説
- 第 5 回 テキスト解説
- 第 6 回 テキスト解説
- 第 7 回 テキスト解説
- 第 8 回 テキスト解説
- 第 9 回 テキスト解説
- 第 10 回 テキスト解説
- 第 11 回 テキスト解説
- 第 12 回 テキスト解説
- 第 13 回 テキスト解説
- 第 14 回 テキスト解説
- 第 15 回 全体のまとめと補足

5. 成績評価方法：平常点（授業への参加状況）70%+レポート 30%（テキストの内容と関係のあるテーマを設定して 2000 字程度で論述せよ）。

6. 教科書および参考書：Google Classroom で資料を配付します。

7. 授業時間外学習：テキストの部分訳を担当していただきますので、ご準備ください。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：フランス文学各論Ⅱ

曜日・講時：木曜 2 限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB64202, 科目ナンバリング：LHM-LIT313J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：近現代フランス文学研究（2）

2・授業の目的と概要：この授業では、近現代（主に 19 世紀以降）のフランス文学から、文学史上特に重要な作家と作品を取り上げ、最新の校訂版や研究文献を参照しながら、その表現の特徴を分析します。

3. 学習の到達目標：近現代のフランス文学における重要な作家と作品に関する最新の研究に触れることで、テキスト研究のスキルを向上させる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

この授業では、20 世紀の文学と思想に大きな影響を与えたポール・ヴァレリー（1871-1945）のテキストについて、最新の校訂版と研究文献を参照しながら解説し、その思考表現の特徴を分析します。フランス文学各論Ⅰに引き続き、『詩学講義』（1937-1945）およびそれに関連する他の重要なテキストについて論じていきます。

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

- 第 1 回 導入
- 第 2 回 テキスト解説
- 第 3 回 テキスト解説
- 第 4 回 テキスト解説
- 第 5 回 テキスト解説
- 第 6 回 テキスト解説
- 第 7 回 テキスト解説
- 第 8 回 テキスト解説
- 第 9 回 テキスト解説
- 第 10 回 テキスト解説
- 第 11 回 テキスト解説
- 第 12 回 テキスト解説
- 第 13 回 テキスト解説
- 第 14 回 テキスト解説
- 第 15 回 全体のまとめと補足

5. 成績評価方法：平常点（授業への参加状況）70%+レポート 30%（テキストの内容と関係のあるテーマを設定して 2000 字程度で論述せよ）。

6. 教科書および参考書：Google Classroom で資料を配付します。

7. 授業時間外学習：テキストの部分訳を担当していただきますので、ご準備ください。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：フランス文学演習 I

曜日・講時：水曜 2 限

セメスター：5 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LB53205, 科目ナンバリング：LHM-LIT331J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：近現代フランス文学テキスト読解
2. 授業の目的と概要：この授業では、近現代フランス文学関連のテキストを精読します。
3. 学習の到達目標：近現代フランス文学の理解を深め、テキスト読解のスキル向上をはかる。
4. 授業の内容・方法と進度予定：
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)
第1回 導入&テキスト読解 (1)
第2回 テキスト読解 (2)
第3回 テキスト読解 (3)
第4回 テキスト読解 (4)
第5回 テキスト読解 (5)
第6回 テキスト読解 (6)
第7回 テキスト読解 (7)
第8回 テキスト読解 (8)
第9回 テキスト読解 (9)
第10回 テキスト読解 (10)
第11回 テキスト読解 (11)
第12回 テキスト読解 (12)
第13回 テキスト読解 (13)
第14回 テキスト読解 (14)
第15回 テキスト読解 (15)
5. 成績評価方法：授業への参加状況 100%
6. 教科書および参考書：Google Classroom で資料を配付します。
7. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
9. その他：

科目名：フランス文学演習Ⅱ

曜日・講時：木曜 1 限

semester：6 単位数：2

担当教員：講師（非）

コード：LB64101, 科目ナンバリング：LHM-LIT332J, 使用言語：French

1. 授業題目：Introduction to French-speaking African literature

2・授業の目的と概要：This course introduces African literature written in French. It offers a historical journey from the origins of this literature at the beginning of the 20th century (or even earlier) to its contemporary developments and perspectives. Students will discuss the relationship between African literature and French literature, African literary movements such as negritude, literary stagings of African history, etc. They will analyze the works of authors such as René Maran, Aimé Césaire and Mohammed Mbougar Sarr. Students will also have the opportunity to interact with actors from the literary world such as the blogger Réassi Ouabonzi better known under the pseudonym Gangoueus.

3. 学習の到達目標：Students will be able to

- Situate French-speaking African literature in world literature
- Identify the main actors in French-speaking African literature
- Analyze works of French-speaking African literature

4. 授業の内容・方法と進度予定：

Session 1: "The Birth of a Literature". A comparative approach to the "births" of French literature and Francophone African literature, with a focus on the issues involved in how these origins are staged and narrated.

Session 2: "René Maran and Bakary Diallo". An analysis of excerpts from the works of René Maran and Bakary Diallo to further the discussions on the origins of Francophone African literature.

Session 3: "Négritude". A look back at the history of the Négritude and the literary and political stakes of this movement.

Session 4: "Aimé Césaire". Analysis of a work from the Négritude movement, identifying the characteristic elements of the movement's aesthetic and philosophy.

Session 5: "The Question of Language". A discussion on the relationship between African writers and the French language.

Session 6: "Ahmadou Kourouma". Continuing the discussion on the relationship with the French language through the writing strategies of Ahmadou Kourouma, famous for having "Malinkinized" French. Possible guest appearance by a contemporary writer to discuss their own relationship with the language.

Session 7: "The Dictator Novel". Discussion of how, after the independences of the 1960s, African writers criticized dictatorial regimes.

Session 8: "Sony Labou Tansi". The novels of Sony Labou Tansi, such as Life and a Half (La vie et demie), are representative of the dictator novel. An analysis of excerpts will provide a better understanding of their characteristics and themes.

Session 9: "African Literature on the Internet". The Internet plays an increasingly vital role in the production and reception of African literature. This session will explore the place of Francophone African literature in literary blogs, YouTube videos, and social media like Facebook.

Session 10: "Conversation with Gangoueus". Gangoueus is one of the most influential African literary bloggers. Students will discuss his work with him.

Session 11: "African Women's Literature". A review of the place and role of women authors in Francophone African literature.

Session 12: "Mariama Bâ and Léonora Miano". Focusing on works by Mariama Bâ and Léonora Miano will help measure the evolution of women's roles in Francophone African literature. Possible guest appearance by a woman writer.

Session 13: "2006 and 2021". In 2006 and 2021, some of the most important literary prizes were awarded to African writers. Students will discuss the impact of these events on Francophone African literature.

Session 14: "Mohamed Mbougar Sarr". Mohamed Mbougar Sarr received the Prix Goncourt in 2021 for The Most Secret Memory of Men (La plus secrète mémoire des hommes). How should we analyze this landmark novel?

Session 15: "Review and Perspectives". Students will summarize the course, ask for clarifications, and share their final thoughts and feedback.

5. 成績評価方法：Students will be expected to participate in class and prepare for the sessions.

Students will answer general knowledge questions and questions related to the analysis of literary texts.

6. 教科書および参考書：Students will receive excerpts from literary works before the first session. Additional excerpts may be distributed as the course progresses.

7. 授業時間外学習 : Students will benefit from reading the complete works in addition to the excerpts studied in class.

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他 :

The course will be given in French, taking into account the fact that the students are not French speakers.
This class is conducted online.

科目名：フランス文学演習Ⅲ

曜日・講時：月曜3限

Semester：5 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LB51309, 科目ナンバリング：LHM-LIT333F, 使用言語：日本語

1. 授業題目：フランス語・フランス文学史の諸相

2. 授業の目的と概要：指定された教科書（Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002）を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に仏文解釈の練習も行います。

3. 学習の到達目標：フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相について理解するための基礎知識を習得する。また仏文解釈のスキルを向上させる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。）

- 第一回 ガイダンス
- 第二回 pp. 11-37
- 第三回 pp. 37-58
- 第四回 pp. 59-80
- 第五回 pp. 80-99
- 第六回 pp. 99-118
- 第七回 pp. 119-138
- 第八回 pp. 138-159
- 第九回 pp. 159-176
- 第十回 pp. 176-196
- 第十一回 pp. 196-218
- 第十二回 pp. 219-238
- 第十三回 pp. 239-259
- 第十四回 pp. 259-280
- 第十五回 pp. 281-286

5. 成績評価方法：出席100%

6. 教科書および参考書：Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.

7. 授業時間外学習：指定箇所の仏文和訳が必要になります。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：フランス文学演習IV

曜日・講時：月曜 5 限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：JULIEN DUBRUQUE

コード：LB61501, 科目ナンバリング：LHM-LIT334F, 使用言語：French

1. 授業題目：Overview of Greek and Latin literature

2・授業の目的と概要：Students will learn:

1. The chronology of Greek and Latin literature over more than 2500 years;
2. the literary genres created by the Ancient Greeks;
3. how these genres have influenced the French (Western) ones since the Middle Ages.

3. 学習の到達目標：At the end of the course, students should be able to identify all the literary genres and the main Greek and Latin authors that knowledgeable Frenchmen (westerners) would have known, read, or imitated until the 20th century.

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- Session 1: Poetry. Epic and didactic poetry.
- Session 2: Poetry. Lyrical poetry Elegiac poetry
- Session 3: Poetry. Theater
- Session 4: Poetry. Theater. Comedy
- Session 5: Prose. Eloquence
- Session 6: Prose. Ancient Philosophy (1)
- Session 7: Prose. Ancient Philosophy (2)
- Session 8: Prose. Holy Scripture.
- Session 9: Prose. Medieval and Modern Philosophy (1)
- Session 10: Prose. Medieval and Modern Philosophy (2)
- Session 11: Prose. History
- Session 12: Prose. Geography and History
- Session 13: Prose. Fiction
- Session 14: Prose. Fables
- Session 15: (To be adjusted later)

5. 成績評価方法：Students will write an short essay in French at the end of the course.

6. 教科書および参考書：Students will receive excerpts from Greek and Latin literary works in translation ahead of time.

7. 授業時間外学習：Reading the texts in French, English or Japanese translation ahead of the course.

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

The course will be given in French and English, taking into account the fact that the students are not French speakers.

This class will be held online.